



請願第4号

2025年 4月 4日

鶴川第二中学校存続の検討を求める請願

町田市教育委員会教育長 様

住 所

連絡先

氏 名

(請願の要旨)

鶴川第二中学校（以下、鶴川二中）の存続を求める請願

(請願の理由)

2034年に統合する計画案が発表されたことに対して、

1. 鶴川二中は、現在、東京都公立中学 607 校中、18 番目に大きい生徒数の中学であること 1 学年 7 クラス(33 人/クラス)、2 学年 6 クラス(35 人/クラス)、3 学年 7 クラス(36 人/クラス) <優先順位を決定する上での指針>

○ 2030 年度までに、小学校であれば 12 学級未満、中学校であれば 9 学級未満となる学校の統合及び統合に伴う建替え及び改修を優先し、それ以外の学校統合を予定している地区及び統合を伴わない建替校(新独参校)の計画は延期する。

鶴川二中の場合、町田市の独自人口推計である 30%減を加味しても、1 から 3 学年すべて 35 人学級で 5 クラスが維持されます。

世界の中学校の 1 クラスの人数の平均は 23 人と OECD 調査では出されています。いまだに 40 人に近い人数とされていること事態を改善させるべきではないでしょうか。

2. 真光寺地域からの通学が 2 キロとなるため。真光寺地域の小学生は、今でも鶴川四小まで 30 分山坂の通学を行っています。真光寺中学に入ると、ぐっと学校が近くなり、とてもうれしかったという経験が卒業生からも声があります。
- 3.
4. 不登校が社会問題になっている今、生徒たちに意見を聴くことを求めます。大人が決めたことではなく、生徒の参画が「自分が尊重されている」ことにつながります。
5. 鶴川二中の生徒数の中で多いのは、三輪小学校卒業生です。そして、三輪地域から 2 キロを超える通学を強いられています。三輪地域に中学を開設しなくてよいのか、このことを先に考えるべきではないでしょうか。